

MASAHIRO KAMIYA
Prefectural Government Report



県政報告

vol.2

愛知県議会議員

神谷まさひろ

「日記形式での県政報告」第2弾をお届け致します。

夏から秋にかけては地区ごとの盆踊りや敬老会など、多くの皆様方と触れ合う機会がありました。ホームページの日記ではそういったことも紹介をしているのですが、こちらの紙面では政務活動や議会の様子を中心にお伝えして参ります。ぜひご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



7.24 水 県議会議員としての覚悟

終

日、大掃除をしていました。「この時期に大掃除？」と疑問に思った方もおられると思うのですが、実は7月末をもって自らの会社の魚屋部門を廃業することにしたのです。そのため魚加工場の片付け作業をしているのです。



私は市議会議員としての20年間、魚屋と議員という二足の草鞋で活動して参りました。朝3時半に起床して名古屋中央卸売市場に出かけ、朝7時頃に刈谷に帰り、それから議員としての活動をする…このような毎日でした。

しかしこの度、県議会議員に当選をさせて頂き、その活動範囲の広さや忙しさを考えた時に、二足の草鞋のまま活動することは時間的にも体力的にも難しいということを実感しています。また、応援して下さっている方々に対しても二足の草鞋のままでは申し訳なく、県議会議員としての活動に専念すべきだという結論に至りました。

昭和7年に祖父が始めた魚勉商店から数えると87年間、株式会社としてから来年でちょうど50年の節目を迎えます。これだけ長きに渡り多くの皆様にご愛顧頂きましたことに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。これからは県議会議員に専念して恩返しをして行く所存です。

7.29 月 福祉医療委員会の県内調査

私が所属します福祉医療委員会の県内調査が実施されました。「県内調査」と言うのは、行政視察の県内版のようなもので、委員会単位で県の様々な施設などに調査・見学・勉強に行くのです。午前中は春日井市にある愛知県医療療育総合センターに、午後からは名古屋市千種区の愛知県精神医療センターに出かけました。

愛知県医療療育総合センターの前身は愛知県心身障害者コロニーです。心身障害者の福祉総合施設として50年間、その中核的な役割を果してきましたが平成19年に策定された再編計画により改廃、新たに施設整備などが進み今年の3月に医療療育総合センターとして開所したのです。

示された資料の中で興味深い数字がありました。施設

入所者の地域生活移行の状況です。平成18年4月当時458人おられた利用者のうち353の方が、それぞれの地域(自治体)に移られ現在は122人になっている…というものです。

障害者・障害児が地域で自立して生活できるよう支援事業を充実するための法律である障害者自立支援法が施行されたのが正に平成18年、その制度に則って地域移行が進んだと読み取れる数字なのですが、それは単に地元の施設に移っただけなのか、それともヘルパーさんの力を借りて自宅での生活が可能になったのか…気になりましたので質問を、と思っていたら、残念ながら時間切れに。委員会の中で質して行きたいと思います。

平成18年→458人 平成31年→122人に

8.30 金 愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo) の開業式典

七ントレアの前に開業した愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)の開業式典に出席しました。この施設の誇れる特徴は…

- ①展示面積約6万m²(国内4位の広さ)
 - ②国際空港直結(日本初)
 - ③常設保税展示場(海外からの展示品に関税が掛かりません)
 - ④コンセッション方式による民間運営
 - ⑤最新技術の音響・Wi-Fi環境
- 立派な施設は出来ました。が、大切なのは「使ってもらうこと」です。上記のような特徴を武器に、東京一辺倒である展示会やコンサートをぜひ愛知に誘致して、経済効果を高めたいと思います。



9.3 火 刈谷市から県への要望

建設委員会の県内調査に地元議員の一人として同席しました。会場は知立市商工会館、調査内容は知立建設事務所関係の事業と衣浦港務所管内の事業についてです。

それぞれの所長から概要説明があった後、碧海5市の市長さん(代理も含む)からそれぞれの市の要望事項を説明して行きました。刈谷市からは近藤副市長さんが

出席され、[主要な幹線道路網の整備について]と[二級河川等の改修の促進について]の2項目を提案されました。具体的には…

①主要な幹線道路網の整備について

- ・名古屋岡崎線の早期整備
- ・宮上知立線バイパスの早期整備
- ・小垣江安城線の早期整備

②二級河川等の改修の促進について

- ・境川・逢妻川改修事業(河道拡幅・逢妻川洪水調節地)
- ・前川水系の治水安全度の向上(前川水門・前川左岸樋門)

こうした刈谷市からの要望に対して、私も県議の立場で応援して行きたいと思います。



9.6 金 無所属議員6名の【連絡会】

議

会運営委員会や団長会議、定例会に提出される議案の説明などのために、無所属の議員6名を対象とした【連絡会】というものが適時開催されます。今日は9月定例県議会の予定議案説明などのための【連絡会】が開催されました。

説明された補正予算の中から数項目紹介しますと…

①交通安全施設整備費 約1億1240万円

- 信号のLED化 568本
- 道路標識 448本
- 道路標示 49Km

尚、愛知県における信号機のLED化率は56.1%です。

②愛知県国際展示場において官民連携による祭事を開催 約1億5492万円

現在予定されている「Aichi Sky Expo利用促進補助金を活用する祭事」

◎愛知県社会福祉大会 2019年10月30日

◎The Collection(海外スーパーカーの展示会)
2019年11月9日～10日

◎愛知・知多半島マーケット2020
2020年1月25日～26日

◎HAPPY MAMA FESTA
2020年2月28日～31日

◎第5回あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会 2020年3月5日

◎鉄道フェスタ in 「Aichi Sky Expo」

2020年3月20日～21日

◎ロボカップジャパンオープン2020あいち

2020年3月20日～22日

③介護事業所のICT機器の導入を支援 5220万円

○補助対象 県内に所在する介護事業所 174事業所

○基準額 1事業所あたり60万円

○補助率 1/2

④スタートアップ企業を支援

調査費2400万円 整備推進費9400万円

新市場を開拓するスタートアップ企業を支援するために、鶴舞公園南側にある勤労会館跡地に拠点施設である「ステーションAi(アイ)」を整備します。この施設は試作品を製作する「テックラボ」宿泊施設を備え、清華大(中国)・シンガポール国立大・IMT(フランス)などスタートアップ支援に力を入れている海外の大学とも連携して利用者に支援プログラムを提供します。

そしてこの中核施設である「ステーションAi(アイ)」の整備に加えて、県内各地域に様々なテーマ・分野に特化したサテライト支援拠点も整備します。ものづくりを支える自動車産業は、大変革期を迎えています。だからこそスタートアップ企業を起爆剤として、新たなイノベーションに早急に取り組む必要があるのです。

9.20 金 9月定例議会 開会

愛

知県議会9月定例議会が、10月15日(火)まで26日間の会期で始まりました。

全員起立をして議長挨拶と知事の挨拶を行う開会式が行われた後、本会議に入りました。先ず始めに12件の報告→会期の決定→新たに就任した青山副知事と入谷人事委員の挨拶の後、大村知事より上程された全ての議案を一括議題として提案理由の説明が行われました。知事の説明を項目名で紹介しますと…

- ①経済情勢と本県の財政運営、②経済・産業の活性化、
- ③重症心身障害児者施設の整備、④全国知事会議、⑤国の施策・取組に対する要請活動、⑥あいちトリエンナーレ2019、⑦豚コレラへの対応、⑧技能五輪全国大会・全国アビリンピック、技能五輪国際大会、⑨ロボカップジャパンオープン2020、⑩愛知県民栄誉賞、⑪ドイツ・ロシア・フランス訪問、⑫Ctripとの外国人旅行者誘致促進に関する協定締結、⑬G20愛知・名古屋外務大臣会合、⑭愛



知 国 際 展 示 場
「Aichi Sky Expo」、
⑯高級ホテルの誘致、⑰東南アジア訪問、⑮あいちアル・ブリュット障害者アーツ展、⑯ラクビーワールドカップ

2019、⑯交通安全対策の推進

そして最後に、補正予算の関係と補正予算以外の議案について説明をされました。

これだけ多くの項目について、原稿を読むだけではなく、どうしても強調したいことや自らの考えをしっかりと述べておきたい部分については、アドリブで自らの言葉で語つて行かれます。「自らの言葉で語りかける」政治家として最も大切なことだと思います。

10.1 火 本会議の一般質問に登壇

愛

知県9月定例議会一般質問の3日目。今日は7名の議員が登壇しました。そして私自身がその7番目、つまり3日間に亘る一般質問の最後の質問者として登壇しました。

刈谷市議会議員の時代に何度も経験しているとはいえ、流石に県議会ともなると緊張します。事前に通告した①「愛知の地方創生について」、②「刈谷市の治水対策について」の2項目を質問しました。このうち「刈谷市の治水対策」に関する答弁の一部を要約して紹介します。



◎境川と逢妻川→「5年に一度発生する降雨」に対応する整備が2018年度に完了。現在は更なる治水安全度の向上を目指し、河口部より「20年に一度発生する降雨」に対応する整備を進めている。また、河床掘削や両河川の間にある中堤の撤去を実施している。

◎逢妻川→洪水を一時的に貯留する調節池の整備を進めており、今年度には調節池の上流側を供用開始。下流側は、平常時には刈谷市が運動公園として利用するため、市と連携し、引き続き完成に向け整備を進めて行く。⇒市議会議員の頃からこの河川敷に整備される運動公園に「グラウンドゴルフ場を整備して欲しい」と要望していました。

◎猿渡川→「5年に一度発生する降雨」に対応する整備が完了。現在は上流に向け、知立市内の県道知立安城線付近の河床掘削を行っている。

◎排水機場の自動起動化→操作員による排水機場での直接操作を基本としているが、昨今の増加するゲリラ豪雨による急激な水位上昇への対応や操作員の高齢化・人員不足など、ポンプの確実な操作を実施するまでの課題が生じている。このため刈谷市内では、4箇所の排水機場の内、流れ川第2排水機場と水干川排水機場について、複数あるポンプの内1台を自動起動化している。残る2箇所については、操作状況の実態を踏まえ、自動起動化の必要性を検討する。

私の事務所に掛かっている看板「刈谷の発展を愛知から(アプローチ)！」のスローガンの通り…これからも頑張ります。

10.3 金 委員会の一般質問でも発言

私

が所属する福祉医療委員会が開催されました。県議会では委員会にも[一般質問]があります。これは刈谷市議会に当てはめると[所管事項に対する質問]のようなもので、委員会の所管に関することであれば、質問回数・項目・時間全て無制限で行うことが出来るのです。

今回私は[障害者の地域移行について]というテーマで質問しましたが、その中の一部を紹介します。

9月6日の新聞に「知多半島で初めてとなる重度心身障

害者施設が東海市に整備」との記事が掲載され、知事も9月定例会冒頭にそのことに触れられました。現在同じような施設は西三河南部西圏域(刈谷・安城・西尾・碧南・知立・高浜)にはありません。以前刈谷市が聞き取り調査を行ったところ、重度の障害を持つ人やその家族にとって、「グループホームより入所施設が刈谷市やその近くに開設されることを望んでいる」との結果が出ました。そこで、ぜひこの地域にも整備をして頂くことを要望します。

